

# 「特別活動」活動案

平成 27 年 6 月 3 日 (水)

対象児童 3 - 6 年 11 名

## (1)テーマ

キャンプゲームを通じた仲間づくり

## (2)活動のねらい

コミュニケーション能力を養うとともに、仲間との関係性を深める。また、異学年との交流を促進させる。

## (3)実施場所

体育館など

## (4)展開

時間 (40 分)	児童の活動	指導者の支援
	○猛獣狩り (できる限り同じ人とは組まない) 二人で立ちあがる (腕を組んで立つ) 三人で立ちあがる 関所じゃんけん 6 人組であんたがたどこさ (「さ」の所で飛ぶ) 心を通わせセーの (1 ~ 3 回手を握る) じゃんけん列車 バースデーチェーン ハンドクロス (クロスしたところで拍手) 言うこと一緒、やること一緒 (円の状態で) 言うこと一緒、やること逆 言うこと逆、やること逆 言うこと逆、やること一緒 チェアーチェーン (後ろの人の膝に座る) 拍手を 1 回、拍手を 2 回	●進行役となる。  ●人数調整役となる。  ●積極的に声を出し、盛り上げ役となる。  ●ゲームに参加できていない子の支援。

### [活動を終えての感想 (成果及び課題)]

キャンプのゲームを通じた仲間作りができ、その点は良かったと感じている。子ども達も多くの子が楽しそうに活動してくれていた。ゲームの内容は、上記のようなものを考えていたが、子ども達の盛り上がり具合や、反応、時間などを考慮して、取捨選択を行った。

問題点としては、ゲームに入れていない子が 1 人いて、その子に 1 人の先生が対応したが、その子は最後まで、あまりゲームに参加できていなかった。そのような子が出るであろうということが事前に予想される場合は、話し合いを行っておき、指導員同士の連携を深めておくということがとても大切であろうと感じた。